

日本遺産候補地域 × 次世代伝承推進事業

朗読劇

# 小樽を見つめる

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」  
次世代伝承プロジェクト舞台公演

地元 **高校生** らによる熱演!!

2022年11月13日 日

**入場無料**

事前予約制

(本パンフレットの裏面参照)

《1回目公演》 開場12:00 開演13:00 終演14:00

《2回目公演》 開場16:00 開演17:00 終演18:00

※当日のご入場は、空席がある場合のみ承ります。

**会場** 小樽市民センター (マリンホール)

小樽市色内  
2丁目13番5号

◆ 脚本：高橋 聡

◆ 舞台指導：北脇 一徹

# 歴史があるから今がある!

〈写真：小樽市総合博物館 蔵〉

**主催** 小樽市日本遺産推進協議会

**後援** 小樽市、小樽市教育委員会

**協力** 北海道小樽潮陵高等学校、北海道小樽未来創造高等学校、北海道芸術高等学校

**連絡先** 株式会社日本旅行北海道 小樽支店 平日10:00-16:30 (休業：土日祝日)

**(受託者)** TEL:0134-33-4455 FAX:0134-33-4465



# 歴史を「知る」「語る」、そして「伝える」

「小樽の高校生が小樽に来ている修学旅行生や旅行者と交流する中で、小樽の魅力に気づき、小樽の歴史を紐解き、小樽のまちを改めて見つめ、そして未来へ繋げようと歩み始める。」  
今回、この物語を小樽市内と札幌近郊の高校生の若い世代が朗読劇を通じて発信いたします。

## 出演者 ※状況により変更になる場合があります。



河野 雛華



西村 美羽



吉田 誠弥



秋由 和花



石山 由唯



新堂 麻生



戸川 拓樹



三浦 なつき



結城 快斗



柏原 栞



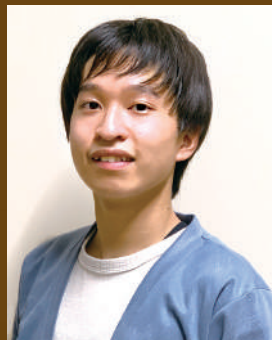
佐藤 愛華



砂田 麻凧



高田 雅紀



野戸 駿祐



今井 舞桜



### ◆ 舞台指導

北脇 一徹 氏

(株)キンプロ所属

1982年4月～1986年4月  
日本大学芸術学部  
演劇学科演技コース

1986年4月～1989年4月  
劇団薔薇座 俳優

2005年4月～  
北海道芸術高等学校  
声優コース講師

本公演をご覧になった方は、アンケートにご協力ください。



小林 多喜二

# ？ 日本遺産って何 ？

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を、総合的に活用する取組みを推進しています。

## 二つの日本遺産「北前船」「炭鉄港」と、 三つ目を目指す「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

これまで小樽市では、複数自治体との連携による「北前船」と「炭鉄港」の二つのストーリーが日本遺産の認定を受けています。さらに、2019年に小樽市日本遺産推進協議会を立ち上げ、小樽市単独の日本遺産の認定を目指し、本公演の主題である「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のストーリーが完成しました。

## 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の「本認定」に向け みんなで一緒に盛り上げよう！！

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のストーリーは、2021年に文化庁より日本遺産「候補地域の認定」を受け、現在、2024年の「本認定」に向け官民一体となって取り組んでいます。候補地域の認定のもと取り組む3年間は、いわば日本遺産の試験的運用期間。この間の活動が本認定に向けた評価の対象となり、本公演のテーマである「次世代への伝承」のほか、「ストーリーの磨き上げ」、「人材育成」、「旅行商品の造成」などの活動の成果が問われることになっています。

市民一体となって「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の活動を盛り上げましょう！

なるほど！



小林 多喜二



北海道の『心臓』と呼ばれたまち  
OTARU

### 日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」ストーリーの概要

かつて小林多喜二は、明治以降に、港と鉄道の大動脈により発展していく小樽を北海道の『心臓』と表しました。北日本随一の商都に発展した小樽は、未来を夢見た人々や財を成した資本家の「民（たみ）の力」でまちをつくりあげてきました。

高度経済成長期に衰退する小樽に、荒廃した運河を埋め立てて道路にする計画がつけられます。失われていく「まちの記憶」を守るために新たに動き出す「民の力」。「小樽運河保存運動」を契機に歴史的遺産をまちづくり観光に活用・再生につなげ、日本のまちづくり運動の先駆けとなった小樽市民の物語です。

## ◆ 構成文化財それぞれのストーリー（抜粋）



### 天狗山からの眺望（小樽港）

小樽港を一望する景観。近代初頭の北前船交易からはじまり、石炭輸送の拠点港となった。階段状にせりあがった独特の地形と、かつての商都小樽を一望できる景観。



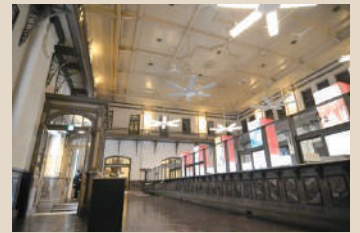
### 旧手宮鉄道施設

明治18（1885）年ほか。石炭輸送のために建設された幌内鉄道にかかわる施設群。日本の近代化を支えた北海道の石炭はここから全国に運ばれた。



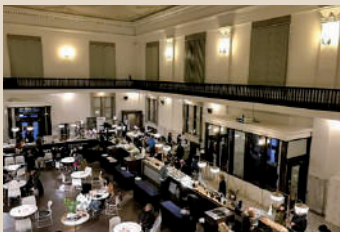
### 旧手宮線散策路

明治13（1880）年に部分開業した幌内鉄道の一部。小樽が物流の拠点として成長するきっかけとしてだけでなく、日本の近代化を支え続けた線路。軌道を残したまま整備をしている。



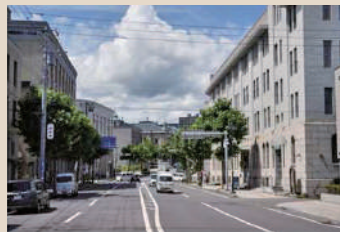
### 日本銀行旧小樽支店

明治45（1912）年、工部大学校一期生であり、当時の日本建築界のリーダーであった辰野金吾らが設計した。金融の面でも北日本の中心となった小樽の象徴的存在。資料館として公開中。



### 旧三井銀行小樽支店

明治2（1927）年、工部大学校一期生の曾禰達蔵の建築事務所が設計。工部大学校一期生のうち3人の作品が存在する唯一の地方都市であることは、経済都市としての繁栄を物語るもの。



### 色内銀行街

明治末から昭和中期。10件の建築から構成される半径500メートルの範囲に銀行建築が立ち並ぶ景観は、全国的にも小樽でしか見ることができない。



### 運河完成後の倉庫群

大正後期の倉庫群3件。運河完成後に建設された木骨石造もしくはRCの倉庫群。運河とともに歴史的な景観を形成している。商業施設として公開。



### 旧北海製罐倉庫(株)事務所棟・工場・倉庫

大正11（1922）年～昭和10（1935）年。小樽運河の埋立て地に建設された製缶会社の工場・事務所・倉庫。船荷役の最盛期の象徴的な建造物群。



# 朗読劇「小樽を見つめる」練習風景



《イラスト：笹原 馨》

本公演の鑑賞をご希望の方は、WEBまたはFAXにてお申込みください。

**WEB申込フォーム**  
はこちらです



FAXでのお申込みは一人様につき最大10人分までお申込みいただけます。

## 朗読劇「小樽を見つめる」鑑賞申込書 (FAX用)

記入日：2022年 月 日

お名前 (代表者)	ふりがな	年 齢	歳	お申込み 人数	名分
ご住所	〒 -				
ご連絡先 電話番号	ご連絡先 FAX番号		FAXの場合必須		
ご希望公演	いずれかに○印をお付けください。				
	1回目公演 (13時開演)		2回目公演 (17時開演)		両公演(2回とも)

(株)日本旅行北海道小樽支店

**FAX 0134-33-4465**

※いただいた個人情報は適切に管理し、本件以外の目的では使用いたしません

受付印

受付後、FAX返信時に受付印を押しお申込み者へ返信させていただきます。返信書面が入場券代わりとなりますので、当日この書面を持参いただきスタッフに提示をお願いします。

※FAX送信後1週間経過しても返信が無い場合はお手数ですが、事務局までご連絡をお願いします。